

(2) むかしのくらし

《すまいのようす》

三島町のほとんどの家が農家でした。田畑をたがやし
 養蚕ようさんでくらししていました。いろいろなものをはこぶため
 に馬を飼っている家もありました。三島町は雪が多いの
 で、馬も家ぞくの一員のように同じ屋根の下でかわれて
 いました。土間どまの半部分がウマヤになっていました。



(酒井三良画)

むかしの農家

床ノ間	奥ザシキ	料理ノ間	ニワ	
		神仏	炉	板ノ間
	ザシキ	オメエ (板ノ間)	入口 土間	ウマヤ

このころの家ぞくは大家ぞくで、じいちゃんふうふ、
 むすこふうふ、子どもたちが一つの家にくらしていてに
 ぎやかな毎日でした。